

第9回香美市立図書館及び美術館収蔵庫建設等検討委員会

平成29年7月18日 18:00～

本庁3階会議室

出席委員：中村直人委員長・濱田正彦副委員長・山本恭弘副委員長

内田純一委員・大岸真弓委員・岡花瞳委員・岡林良浩委員・奥野克仁委員

仙波美由記委員・野村文紀委員・野村貴子委員・濱田久美子委員・町田由岐子委員

森本ちづ委員・山重壮一委員・山本祥子委員・依光美代子委員

事務局：時久恵子教育長・野島恵一次長・岡本博章課長・和田小百合班長・山下聡

都築房子館長・松岡可奈・佐竹慶子館長・井上恵子

CM：日建設計 森健一

教育長あいさつ

委員長

それでは今日の議事に沿って、皆さんのご意見を伺いたいと思いますのでご協力をよろしくお願いいたします。ではCMさんのほうから建設位置検討部会の進捗状況の報告からお願いします。

CM

前回6月20日に行いました建設等検討委員会にて建設位置検討部会の進捗のご報告をさせていただきました。改めて報告いたしますと、広域検討の結果としましては、人口集中地と市の幹線となるあけぼの街道沿いを主として検討すべきという結論になりました。狭域の検討としましては、個別の土地評価については約100項目の評価基準と評価加重方式、採点方式などを検討中です。市民アンケートの経過報告と市民懇談会の開催予定についても報告させていただきました。収蔵庫についてプラザ八王子3階研修ホールに設ける案を報告させていただいて、前回としましては社会福祉協議会さんと協議を行うということでした。本日またその進捗についてご報告をさせていただきます。

つづきまして、建設位置検討部会の進捗の報告をさせていただきます。ただいま用地検討部会としましては、候補地の評価の基準、評価項目についてほぼ内容を決定しましたのと、それとともに今事務局のほうで用地をリストアップしていただいております。以前までは8月1日に評価をしていくということでご報告させていただきましたが、用地のリストアップに時間を要しており、これがひと月ほど遅れ、8月下旬から9月の頭くらいの見込みです。

7月30日に市民懇談会を行います。内容としましては前回ご報告したような香美市全体としてどこにあるべきかというエリアの考え方についてご説明をして、ご意見をいただくという予定にしています。その次の市民懇談会は、時期をずらして書いていますけれど、これにつきましては評価をして絞り込んだ後に最終的に数箇所について市民のみなさんのご意見をいただくというような段階で考えていますが、これも今後の進捗により予定が延びていく可能性もあります。このへんにつきましては少しお時間をいただきながら着々と、急いでやるのではなくて着実にやっていきたいと思って進めております。

続きまして、市民アンケートについて報告いたします。回収結果としましては、まず1,000人を無作為抽出したなかから305通の返答がありました。だいたい30%という見込みでしたのでおおむね見込みどおりに返って

きたと言えると思います。インターネットにつきましては前回の中間報告からおそらくみなさんいろいろとご尽力いただいたということで219通の回答をいただいています。市内の学校としましては500通でほぼ返ってきていまして475通。あと窓口においてあったアンケートへの回答ということで80通、合計1,079通をいただいています。

現在集計中ですので、内容について細かいところまでは報告できませんが、まず性別としてはほぼ半々の回答を得ています。お住まいとしましては80%が土佐山田地区にお住まいの方、11%が香北の方、7%が物部の方というような結果でした。年代としましては小中高校生の回答率がほぼ100%だったので数が非常に伸びて、単純に数字を積み上げていくと小中高校生の意見が非常に上位を占めてしまうということになります。この辺はアンケートの集計を工夫して、分析しなければいけないと考えています。

主な交通手段でどれくらいの距離だったら行けるかという質問をしたのですが、徒歩が10分、20分、30分、60分で区分して集計しているのですが、徒歩や自転車の5分と10分の距離としての違いは重要ではないかと考えています。紙媒体のアンケートは自由記述式で数字を入れられるようになっていたので、統計しなおそうとしています。また、市民懇談会とかパブリックコメントでもいっぱいあった公共交通機関を使うべきだという方がたくさんいらっしゃったのですが、このアンケートを見る限り公共交通機関を利用する方はほとんどいらっしゃらない、公共交通機関の便利なところに置いても利用されない方が多いかもしれません。実際、香美市の場合、公共交通機関がそんなに便利には発達してないのでなかなか使いにくいということがあります。それと今後議論する中では公共交通機関をどこまで重視して話をするか、公共交通機関の利用者が多いかどうかというところは考えていかないといけない。

位置に関しては、ここでも議論があったんですけど、問5と問6という質問を設けていまして「図書館はどのエリアに建設してほしいですか」という質問と、「図書館はどのエリアにあるべきか」という聞き方をしたのと2つありました。土佐山田地区以外にお住まいの方でも意外と土佐山田地区に建てるべきという意見もございました。市民懇談会のなかにはもう少し、移動距離の話も入れていく予定ですので、それをまた後ほど紹介したいと思います。アンケートの進捗につきましては、7月中に集計をする予定ですので、今日は全体の数と属性だけご報告をしています。

次に市民懇談会についてお話しします。開催は7月30日の午前中、場所は香美市役所の3階で行うようにしています。図書館用地の広域なエリア、どこにあるべきかという話と、市民アンケートの結果についてご説明をさせていただいて、参加者の方にワークショップで話し合いをしていただきたいと思います。

本館と分館の考え方として、いま香美市側として考えていることは「あくまでも分館は残したまま、本館を建て替えます。連携については今後も継続していきます。」という考えを、誤解を招くこともあるのでご説明しようと思います。

あと広域の話をするときに都市計画の話をしなれないといけないですが、小学生からいろんな年代の方が来られると思いますので、分かりやすく説明しなければならないと考えています。

最後に「どこに建ってほしい」じゃなくて「どこに建つべきか」ということを、図書館を一生懸命考えている参加者の方でワークショップをしようと思っています。その後、意見発表をしていただいて質疑応答をしてということで、大体2時間の市民懇談会を考えています。こういうかたちで市民懇談会をやろうとしています。何かご意見はありますか。ここまでよろしいでしょうか。

委員長

土地の件についてですが、どこまで情報開示できるかというのがありますが、透明性の確保の面がありますのでオープンにできるところはできるだけするという姿勢でいければと思います。

アンケートの回答もそうですが、懇談会を行っても、それが全体の意見になるかどうかというところはありますよね。全体の意見として捉えるために、集計を調整したり傾向を分析したりする必要があります。そういう点は

きちっと説明をしたほうがよいのではないのでしょうか。

CM

アンケートについては小中高校生が多いので各年代の割合を用いて、各年代の傾向がわかるような集計にしようとしています。

委員長

全体でいうと、30代の回答がすごく少ないですけど、これは特に理由はありますか。無作為でやってこんなに差が出るはずはないですよ。だから出してないということになりますよね。私のイメージですけどお子さんがいらっしゃって、お子さんを図書館に連れて行こうって思う人たちは20代の末くらいから30代の前半くらいが多いのではないかと思うから、回答多くなるとおかしいなと思います。

事務局

その点について分かる範囲で分析させていただきたいと思います。

CM

お忙しくて答えられてないかもしれないので、30代にどれだけ出して30代の回答率がどれだけかというのを一回見るようにしてみます。

委員長

まちづくり委員会のほうに意見をいただきにいく話ありますが、その件は市民懇談会では話しませんか。

事務局

7月28日の時点でまちづくり推進委員会の意見がまとめられたかたちいただければ可能かとは思いますが、どうなるかはわかりませんので、この場でどうするかというのはお答えできません。

委員

アンケート結果について、自由意見の集計はどのようになっていますか。

事務局

ほぼ集計できてはおります。ただ自由意見のほうに、例えばその自由意見を書いた年代であるとか住まいであるとか属性をつける作業をしている段階です。

CM

それでは続きまして前回ご報告させていただいた収蔵庫の案件について事務局からお願いします。

事務局

プラザ八王子の3階多目的ホールを改修して収蔵庫にするという案についてです。関係機関である社会福祉協議会、健康介護支援課、社会福祉事務所から文書で回答がありました。その回答内容を要約しますと「3階ホールの利用頻度は非常に高く、健康づくりや地域福祉の拠点として必須である。」「プラザ八王子自体が市民にとって地域に密着した施設となっている。」「プラザ八王子の位置についても車を利用しない高齢者やベビーカーを伴う母親の方々にも利用しやすい位置となっており、もしホールだけが移転した場合にはその位置も問題になって

くる。」「災害時の緊急避難場所としての機能もあるので、そちらの方面からも計画しなくてはならない。」という内容でした。

ここから考えるのに、相当な時間をかけて調整をする必要があって、その結果、調整がうまくいくかどうかとも分らないと考えると。現段階ではプラザ八王子3階の改修案というのは厳しいと判断をしております。

CM

この結果がありますので一応プロジェクトとしましては元通り美術館収蔵庫を合築するという方向で検討を進めていきますけれども、合築するべきかという話は当然あるので、並行しながら検討はしていきます。他に何かございますか。

委員長

先ほどの、まちづくり委員会とのプロセスをもう一度報告してください。

事務局

まちづくり委員会から意見をいただくという話についてですが、6月から新しい委員に替わっておりまして、今度まちづくり委員会全体会として行われるのが7月28日と聞いております。基本的に多くても月に1回の会ということで、スケジュールで見て、こちらのほうでは9月4日に土地の評価をする予定となっておりますが、それまでにまちづくり委員会の全体会が7月28日以外は決まっていない状態です。もしかしたら8月にはやらない可能性もあります。

7月28日の会に事務局が出席して、現状や部会で検討している考え方を説明してそれに対する意見をいただく段取りで準備をしています。

委員長

われわれとして確認したいことは市全体が将来に向けて全体の公共施設をどういうふうに計画していくかということについての意見です。税金は下がるし、人口は減るところで公共施設の全体の配置を効率的かつ効果的に考え直さないといけない。もちろん市民にそれを訴えないといけないのですが、そういう点について考えを聞きたいわけでは。図書館や美術館収蔵庫をどの位置に建てるのがふさわしいと思われるかということについて意見交換をしたいわけでは。

先ほどのプラザ八王子の件はそれぞれの機関が思っても全体の調整がつかないという状態ですよね。個別にバラバラで考えているわけでは。そうじゃなくて、全体としてどこが適性なのかという議論をしないといけないということでは。

また、情報公開についてはあまり制限しないで、判断をする際に必要だと思われるところはできるだけオープンにしてもらいたい。そうすればこれまで問題となった形を是正するためにやっているの、全体としては理解を得られると思います。もしさらに疑義を抱くようなことになると、何のためにこれを行っているのかわからなくなりますので、適正にいろんな問題を処理していただいて、進捗させていきたいと思っております。

一番危惧しているのは全体の進捗が大幅に遅れてしまって、市民に対してのサービスの提供が1年も2年も遅れるということでは。そうすると市民に対してあまりに適正なサービスを提供してないということになります。

時間をかけなければ理解を得られない部分はかけなければいけないが、できるだけ遅れずに立てたスケジュールに合わせていくというスタンスが重要だと思っております。よろしくお願ひしたいと思っております。

委員

市民懇談会の日程は公開されているものなのですか。ロードマップを見ると10月にも市民懇談会があるそう

ですが。そういう先のことまでもどこかで公表していますか。

CM

まず、この10月というのは今日初めてお話している話です。この市民懇談会については、進展のないまま行うわけにはいかないので、進捗に合わせて発表していく必要があります。また、広報活動がありますので、突然よし来週やろうというわけにもいきません。

委員長

市民の方に図書館の適正な場所をご理解いただき、ご意見いただく場を設けるのであれば、つくった後に運営に協力をしてもらおうというような、こちら側のスタンスを同時に説明して、ボランティアなどの図書館を運営する市民の関与というのを立ち上げていく動きが必要だと思う。今日のお話をお聞きするとそのところが入っていないので、何か考えていただきたい。サポートしたい方の協力体制を得られるようなものをつくるためには、こういう機会に市はそれを訴えないと意味がない。

事務局

わかりました。検討させていただきます。

委員長

オリジナルなものをつくると大変だと思います。以前、伊万里の図書館を見に行きましたよね。市民のサポートシステムがすごく強力でできて今も運営が続いていました。ああいった上手くいっているシステムを紹介して、こういうのをやりたいと思っているというのをご紹介していただいて、積極的に関わってくれる人を募集しているというスタンスを示すことが必要だと思います。

CM

候補地についてですが、具体的な生々しい候補地の話を公開するののかというのは、実は疑問です。候補地が3つだったら2つは落ちるわけですよね。そういう土地を公にするののかという話にもなりますし、やはり、皆さん自宅の近くにつくってほしいというようなところが出てくるので、冷静な議論になるののかというところもありますから、その点は一度この委員会で皆さまのご意見というのをお聞きしておきたい。ただ、以前のやり方で非常に不透明だったということに対して、透明性を持つためにはこういうこともしていけないといけないという考えは持って一応提案はさせていただいております。皆さまのご意見をお聞きしたい。

委員長

個人の不利益になる場合、色々と公にすることは非常に難しいのですが、公的にこちらのほうが出してもいいと思われる「土地を選定する基準」をいろいろ設けましたよね。そういういろんな基準で判断した結果、こういう候補地がいいという話しをして、市役所だけの主観的なことで決まっているのではないことが分かればいいんだと思います。

委員

そうですね。あまり個別のことを公開するというのには所有者の不利益になる場合がありますね。個人が売買する場合の支障になったらいけない。

CM

現在の評価方法ですと、基本的に何か土地取引上の問題があるようなものは公開して評価する場には選ばれません。すごく良い点もあり、すごく悪い点がある土地がもしかしたら残るかもしれませんが。土地の評価についてはあくまで図書館としての評価をした部分しかお伝えできないと思います。

委員

どこに建てるかという最終決定は香美市もしくは市議会が責任を持つてするのですよね。私たち検討委員会の役割は方向性だとか、どこにあればいいのかということを検討して示すことです。それを確認しておきたい。

CM

現在の手順でいくと教育委員会が決めていきます。

事務局

そのあたりは市民からのご意見、それから建設等検討委員会、建設位置検討部会の意見を参考にして、最終的に1ヶ所に決めるのは教育委員会が行います。

CM

あくまでこの機関は評価をするだけです。点数や意見をつけたものを渡して、受け取った教育委員会が決めるという流れになっています。

委員長

他に何か質問とかご意見ございますか。

教育長

この図書館は市民が図書館に集まってきて、そこでいろいろなものを作り出していくというものにしたいというのが最初からあります。現在は土地の問題に焦点があたっている状態ですが、それとは分けて、市民が育てていく図書館にしたいということ呼びかけながらすすめていきたいと思っています。

委員長

図書館の運営については、市が責任を持って専門の職員をちゃんと配置して、基本的な部分は職員によって滞りなく行われるというシステムをつくり、それで市民がいろいろサポートしつつ作り上げていくという、両方の協力的な構図というのが重要だと思う。

教育長

もう1点、合築のところの検討がみなさんもやもやされていると思いますが、開かれた図書館の建物と、収蔵品を大事においておく開かれないものがくつつくのはいかがなものかというご意見がずっとあります。ですからもうちょっと検討していきたいと思っています。

委員

施設の最適な配置を実行するには各関係機関を超えて、検討委員会の方向性も含めた別の大きな判断があつてしかるべきだと思います。

委員

先ほどのお話に関連してですが、今度の市民懇談会には市長はいらっしゃいませんか。

事務局

市長は出席しません。

委員

市長の文化行政に対する思いですとか、まちづくりに対する思いですとか、そういうものもお聞きしたいなと思いますし、いろいろ市民の方々の意見を集めてということは分かりますが、最後に大きな判断をしないといけないのは市長だと思う。市長の意見を聞きたいと思うのですけれど、いかがでしょうか。

事務局

この建設等検討委員会に市長が出席し、意見を言うことは今のところ考えてないですが、状況につきましては報告をしております。

委員長

あとひとつだけ意見を申し上げたいのは、何のためにやっているのかということです。当初の計画から遅れて色々やっているのは新聞とか市議会で問題になったものをクリアにしようとして、こういうステップを踏んでいます。このプロセスをちゃんとオープンにさせていただいて、自分たちのスタンスを説明して、理解を賜るような動きもしていただきたいです。ここでやっていることが市民の方々にどこまで伝わっているのか疑問ですし、広報戦略があまりにも後手に回りすぎているので、こちらがいいことやっても伝わらないしというような状況がずっと続いていますよね。こちらのほうから積極的に情報を投げていく努力をする必要があるのでは。文化施設について検討している姿勢やこの市の考え方の PR にもつながると思います。

事務局

市民の方に対してどういう方法で建設等検討委員会の進捗を広報していくかというのは検討させていただきます。

委員

こういった検討の経過を公開していかないと結論がでたときに急に話が変わったと受け取られかねない。

委員長

だいぶご意見いただきましたが他にないようでしたら、今の意見を集約させていただいて、事務局にはだいぶ宿題が出ましたので、大変だとは思いますがよろしくお願いします。それでは司会をお返しします。

CM

次回ですが、次の動きとして用地部会の評価のことがある程度進んだ段階でこちらの本会に進みたいと思いますので、本来は図書館本体の話もありますが、まずは土地が決まらなければいけません。用地部会の動きに合わせて次回の本会は招集させていただくということですのでよろしいでしょうか。決まり次第事務局からご案内します。

閉会 19:40 終了